

公募型見積合わせ公告

国立大学法人大阪大学において、次のとおり公募型見積合わせ方式に付します。

1. 調達内容

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| (1) 調達番号 | 医病017 |
| (2) 調達件名 | カラー蛍光イメージングシステムSPY-QP ストライカー製 1式の賃貸借 |
| (3) 契約期間 | 令和6年2月1日 ～ 令和9年1月31日 |
| (4) 納入場所 | 国立大学法人大阪大学医学部附属病院 |

2. 見積参加資格

- (1) 国立大学法人大阪大学契約規則第7条及び第8条の規定に該当しない者であること。
- (2) 本学と取引実績のある者であること。
- (3) その他経理責任者等が認めた者。

3. 見積書の提出場所等

- (1) 見積書の提出場所、契約条項を示す場所
国立大学法人大阪大学公募型見積合わせ方式参加者心得の交付場所及び問合せ先
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号
国立大学法人大阪大学医学部附属病院 管理課 用度第二係
電話 06-6879-5126
- (2) 国立大学法人大阪大学公募型見積合わせ方式参加者心得の入手方法
本公告の日から上記3(1)の交付場所にて交付します。また、インターネットにより本学ホームページにアクセスし、参加者心得を出力することもできます。
- (3) 見積書提出期限
令和6年1月31日(水)17時
(郵送又は宅配便により提出する場合は提出期限までに必着のこと。)

4. その他

- (1) 契約保証金 免除
- (2) 契約書作成の要否 要
- (3) その他詳細は、国立大学法人大阪大学が定めた「国立大学法人大阪大学公募型見積合わせ方式参加者心得」に定めています。

見 積 書

調達番号: 医病017

調達件名: カラー蛍光イメージングシステムSPY-QP ストライカー製 1式の賃貸借

見 積 金 額

月額 _____ 円

国立大学法人大阪大学が定めた賃貸借契約基準を熟知し、仕様書及び公募型見積合わせ方式参加者心得を承諾の上、上記の金額によって見積します。

令和 年 月 日

国立大学法人大阪大学 殿

住 所

会 社 名

氏 名

電話番号

[印]

※ 見積金額は、消費税額及び地方消費税額を除いた金額を記載してください。

※ 見積書の日付は、提出日を記載してください。

※ 本学が見積公告【2. 見積参加資格(1)(2)】以外に見積参加資格を示した場合、それを有しているかどうか証明するための書類を見積書に添付してください。

レンタル契約書

レンタル物品の表示

カラー蛍光イメージングシステムSPY-QP ストライカー製 1式の賃貸借

(内訳)

SPY PHI	1式
光源装置内蔵ビデオプロセッサ(VPI)	1式
SPY-QP 蛍光評価ソフトウェア	1式
マイクロカート	1式
CONNECTED OR HUB ベースシステム	1式

レンタル料金: 月額一式当たり金 円也

上記の消費税額は、消費税法第28条第1項及び第29条並びに地方税法第72条の82及び第72条の83の規定に基づき、レンタル料金に110分の10を乗じて得た額である。

ただし、消費税及び地方消費税の税率が変更された場合には、変更後の消費税率及び地方消費税率によるものとする。

賃借人 国立大学法人大阪大学医学部附属病院 病院長 竹原 徹郎 と 賃貸人 株式会社〇〇との間において、上記の物品(以下「物品」という。)について、上記のレンタル料金で、次の条項によりレンタル契約を締結するものとする。

第1条 賃貸人は別紙1「仕様書」に基づき、賃借人に対し物品を賃貸し、賃借人はこれを借り受けるものとする。

第2条 物品は国立大学法人大阪大学医学部附属病院に納入するものとする。

第3条 賃貸人は、業務を行う上で知り得た賃借人に関する事項を他に漏らし、又は他の目的に使用してはならない。

第4条 賃貸人は、業務を行う上で知り得た個人情報については、別紙2「個人情報取扱の特記事項」を遵守して取り扱うものとする。

第5条 物品のレンタル期間は令和6年2月1日から令和9年1月31日までとする。

2 賃借人は、自己の都合により、レンタル期間満了前に本契約を解約するときは、原則として解約しようとする日の3か月前までに文書によって賃貸人に通知するものとする。

第6条 レンタル実施期間が1か月に満たない場合は、次の算出式により金額を算定するものとする。
1か月あたりの契約金額

$$\frac{\text{1か月あたりの契約金額}}{\text{当月の暦日数}} \times \text{当月のレンタル日数} = \text{当月分の支払金額}$$

(円未満切捨)

第7条 納品書及び請求書は、1か月分を取りまとめ国立大学法人大阪大学医学部附属病院管理課用度第二係に提出すべきものとする。

- 第8条 レンタル料金は、毎月支払うものとし、借借人が月末に物品の借入確認を行い、当該月の翌々月末までに支払うものとする。
- 第9条 契約保証金は免除する。
- 第10条 物品の保守及び点検の費用並びに物品の搬入、据付、調整及び本契約の契約期間満了又は解約による物品の撤去費用は、レンタル料金に含まれるものとする。
- 第11条 借借人の故意又は過失によって物品を損傷、または紛失したときは、借借人は賠償の責を負うものとする。
- 第12条 この契約についての必要な細目は、別冊の国立大学法人大阪大学が定めた貸貸借契約基準によるものとする。
- 第13条 この契約について、借借人と貸貸人との間に紛争が生じた時は、借借人所在地の所轄裁判所の裁決によりこれを解決するものとする。
- 第14条 この契約に定めのない事項について、これを定める必要がある場合は、借借人と貸貸人との間において協議して定めるものとする。

上記契約の成立を証するため借借人及び貸貸人は、次に記名し、印を押すものとする。

この契約書は2通作成し、双方で各1通を所持するものとする。

令和 6年 月 日

借借人 大阪府吹田市山田丘2番15号
国立大学法人大阪大学医学部附属病院
病院長 竹原 徹郎

貸貸人

仕 様 書

レンタル物品の表示

カラー蛍光イメージングシステムSPY-QP スライカー製 1式の賃貸借

(内訳)

SPY PHI	1式
光源装置内蔵ビデオプロセッサ(VPI)	1式
SPY-QP 蛍光評価ソフトウェア	1式
マイクロカート	1式
CONNECTED OR HUB ベースシステム	1式

レンタルの期間

令和6年2月1日～令和9年1月31日

1. 賃借人(以下「甲」という。)は貸貸人(以下「乙」という。)への指示により、上記レンタル物品(以下「機器」という。)の賃借依頼を行うものとし、甲の使用開始から使用終了までの期間について、乙は機器を賃貸するものとする。
2. 機器の設置、移動、回収、保管に要する費用は、本契約に含むものとする。
3. 定期点検及び故障等の対応を甲が依頼した場合には、乙は速やかに対応するものとする。
4. 乙の従業員を機器の使用場所に立ち入らせる場合は、必ず身分証明書等を携行させ、風紀、安全、衛生に努めるものとする。
5. 乙は、使用方法・緊急時連絡方法等を機器に掲示するものとする。
6. 法令によって定められた個人情報の取り扱いについては、法令を遵守するものとする。
7. 本仕様書に記載なき事項並びに不明な点は、甲と乙とが協議のうえ実施するものとする。

個人情報取扱の特記事項

(基本的事項)

- 第1 この契約により、発注者から業務を請け負った者(以下「受注者」という。)は、この契約による業務を行う上で、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。

(秘密保持)

- 第2 受注者は、この契約による業務に関して知り得た個人情報を他人に知らせ、又は本契約を履行する以外の目的に使用してはならない。
- 2 受注者は、この契約による業務に従事する者に対し、在職中及び退職後においても、この契約による業務に関して知り得た個人情報を他人に知らせ、又は本契約を履行する以外の目的に使用してはならないことその他個人情報の保護に関して必要な事項を周知させなければならない。
- 3 前2項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(保管及び搬送)

- 第3 受注者は、この契約による業務に係る個人情報の漏えい、改ざん、滅失、毀損その他の事故を防止するため、個人情報の厳重な保管及び搬送に努めなければならない。

(再委託の禁止)

- 第4 受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による業務に係る個人情報の処理を自ら行うものとし、第三者にその処理を委託してはならない。

(契約目的以外の利用等の禁止)

- 第5 受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による業務に係る個人情報を当該業務の処理以外の目的に使用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写及び複製の禁止)

- 第6 受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による業務に係る個人情報を複写若しくは複製してはならない。

(事故発生時の報告義務)

- 第7 受注者は、この特記事項に違反する事態が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、その指示に従わねばならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(個人情報の返還等)

- 第8 受注者は、この契約が終了し、又は解除されたときは、この契約による業務に係る個人情報を速やかに発注者に返還し、又は漏えいを来さない方法で確実に処分しなければならない。

(適正な管理)

- 第9 受注者は、この契約による業務を学外で実施する場合には、個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。この場合において、発注者の求めに応じ、責任者等の管理体制及び個人情報の管理状況に係る検査に関する事項等についての書面を提出しなければならない。

(違反した場合の措置等)

- 第10 発注者は、受注者がこの特記事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができるものとする。